
2023年度 第3四半期業績

決算説明資料

地球の恵みを、社会の望みに。



2024年2月9日

2023年度 第3四半期業績

■ 2023年度 第3四半期業績のポイント	4
■ 連結損益計算書	5
■ セグメント別 売上収益	6
■ セグメント別 営業利益	7
■ セグメント別 売上収益・営業利益	8
■ 連結財政状態計算書	13
■ キャッシュ・フローの状況	14

2023年度 通期業績予想

■ 2023年度 通期業績予想	16
■ セグメント別 通期業績予想	17

補足資料

■ セグメント区分一覧	19
■ 連結対象会社数	21
■ ユニット別 売上収益	22

■ 国内ガス種別 売上収益	23
■ セグメント別 事業利益	24
■ 地域事業会社 売上収益	25
■ 主要グループ会社／グローバル&エンジニアリング 分野別 売上収益	26
■ 売上収益・営業利益の推移	27
■ ROE・当期利益の推移	28
■ 配当の推移	29
■ 直近の主なリリース一覧	30
■ 能登半島地震について	31
■ TOPICS（半導体向け稀少ガスの安定供給に向けて）	32

注 記 事 項

・本資料に掲載されている目標数値および将来予想は、現時点で入手可能な情報に基づく当社の判断によるものであり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。そのため、さまざまな要因の変化により、実際の業績は記載している将来見通しとは大きく異なる可能性があることをご承知おきください。

・当社の財務情報は、IFRS（国際会計基準）に基づき作成しております。

2023年度 第3四半期業績

2023年度 第3四半期業績のポイント

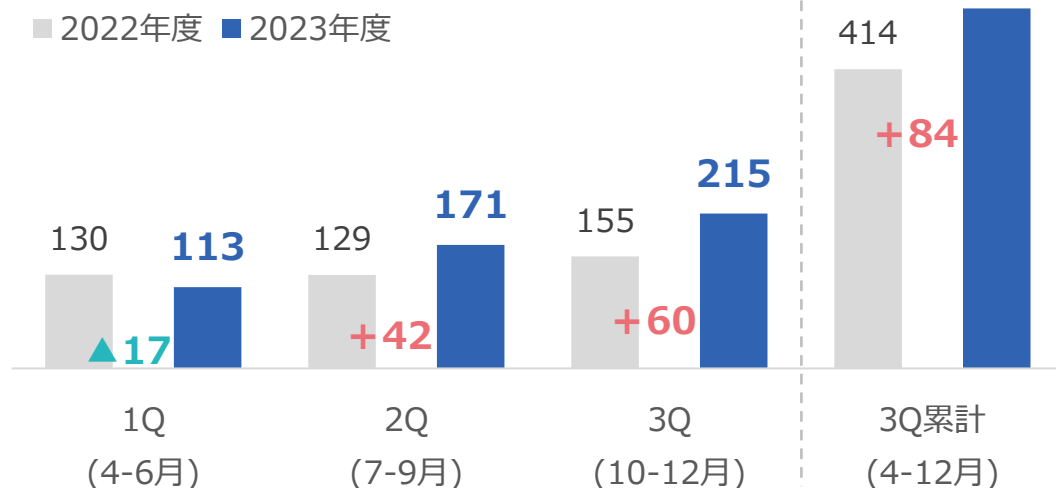
地球の恵みを、社会の望みに。



(単位：億円)	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	
			金額	率
売上収益	7,248	7,447	+ 199	102.7%
営業利益	414	498	+ 84	120.3%
親会社所有者 帰属利益	265	310	+ 46	117.2%
営業利益率	5.7%	6.7%		

- 価格マネジメントや生産性向上の進展により、市場環境の回復が遅れる中でも、第3四半期（10-12月度）の営業利益は215億円、4-12月度累計は498億円で、ともに過去最高業績を達成
- 第3四半期（10-12月度）は、大幅増益となった第2四半期（前年同期比+42億円）からさらに業績が拡大（同+60億円）

四半期別 営業利益推移 (単位：億円)



主な伸長要因

- 産業ガス、業務用塩を中心とした各種製品の価格改定が進展
- グローバル&エンジニアリング（北米産業ガス、高出力UPS）の拡大
- 飲料事業の伸長、青果卸事業の新規連結効果（アグリ&フーズ）
- 木質バイオマス発電事業（電力、海水）のコスト影響が緩和

(単位：億円)	22年度3Q	23年度3Q	増減	
			金額	率
売上収益	7,248	7,447	+ 199	102.7%
売上原価	▲5,778	▲5,838	▲60	
売上総利益	1,470	1,609	+ 139	109.4%
販売費・一般管理費	▲1,095	▲1,154	▲58	
その他の収益・費用	22	24	+ 2	
持分法による投資利益	18	19	+ 1	
営業利益	414	498	+ 84	120.3%
金融収益・費用	▲4	▲5	▲2	
税引前四半期利益	411	493	+ 82	120.0%
法人所得税費用	▲144	▲169	▲25	
非継続事業からの四半期利益	0	0	+ 0	
四半期利益	267	324	+ 57	121.4%
親会社の所有者に帰属する利益	265	310	+ 46	117.2%
非支配持分	2	14	+ 12	
営業利益率	5.7%	6.7%		
R O E ※1	6.5%	7.0%		
基本的 1 株当たり四半期利益 ※2	116.78円	136.32円		

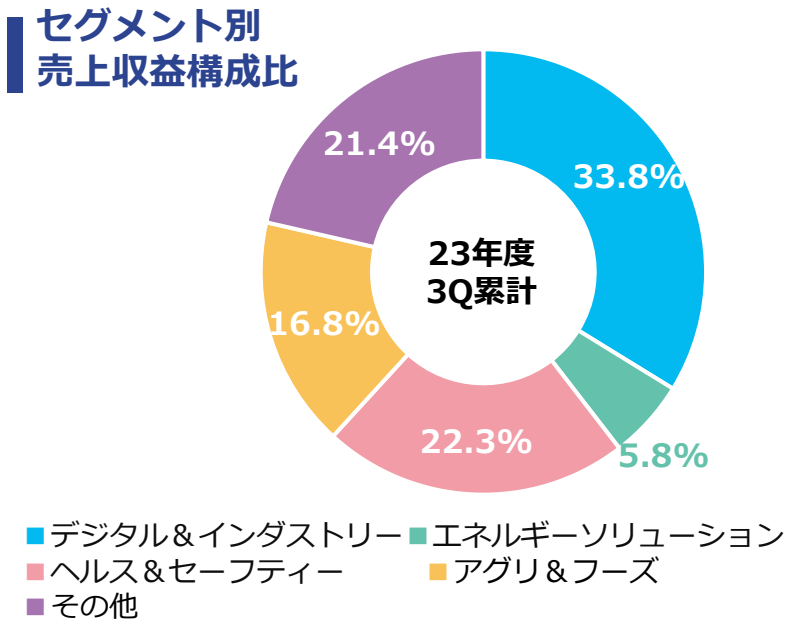
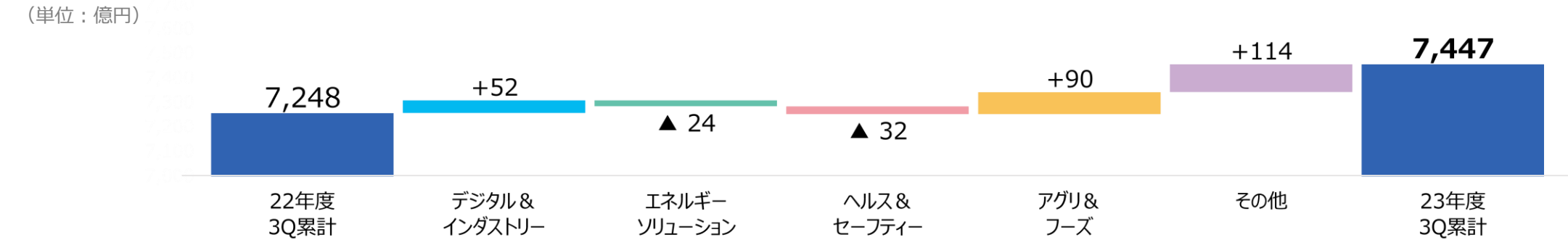
※1 「親会社の所有者に帰属する四半期利益」
÷「親会社の所有者に帰属する持分（期首・四半期末の平均）」

※2 基本的 1 株当たり四半期利益は
期中平均発行株式数により算出しています。

(単位：億円)

グループ	22年度3Q	23年度3Q	増減	
			金額	率
デジタル&インダストリー	2,464	2,516	+ 52	102.1%
エネルギーソリューション	453	429	▲ 24	94.7%
ヘルス&セーフティー	1,690	1,657	▲ 32	98.1%
アグリ&フーズ	1,160	1,250	+ 90	107.7%
その他	1,481	1,595	+ 114	107.7%
合計	7,248	7,447	+ 199	102.7%

※当第1四半期より、「デジタル&インダストリー」に区分していた国内のエンジニアリング事業および海外・エンジニアリング（インド産業ガス等）事業を「その他の事業」に、「エネルギーソリューション」に区分していた炭酸ガス・水素事業を「デジタル&インダストリー」に移しました。それに伴い、前年同期の数値も、変更後のセグメント区分に組み替えて表示しています。

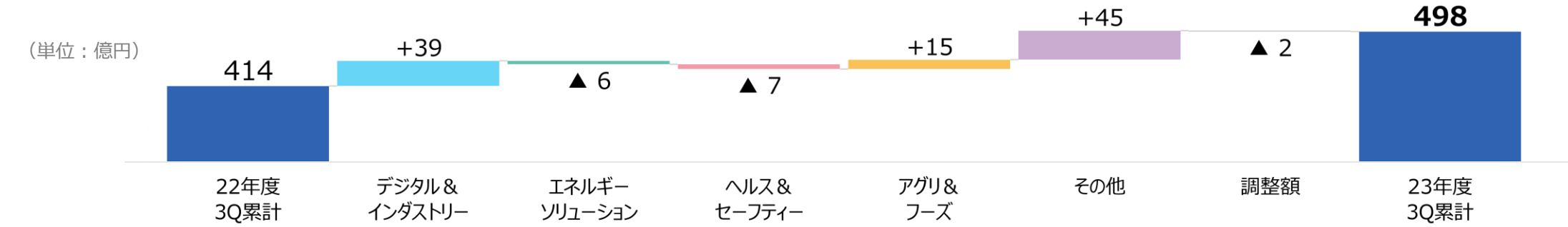
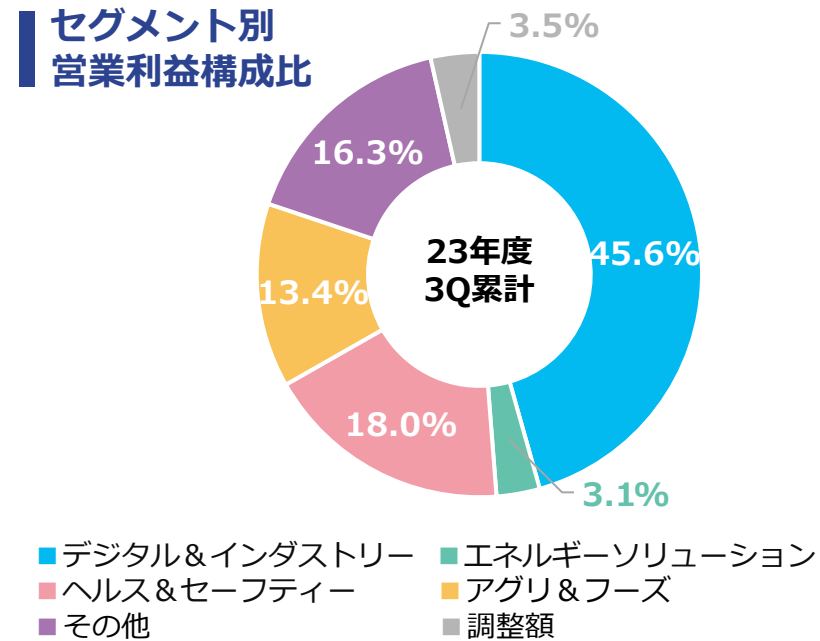


(単位：億円)

グループ	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	
			金額	率
デジタル&インダストリー	188	227	+ 39	120.6%
エネルギーソリューション	21	16	▲ 6	73.9%
ヘルス&セーフティー	97	90	▲ 7	92.4%
アグリ&フーズ	52	67	+ 15	128.1%
その他	36	81	+ 45	223.4%
調整額	19	18	▲ 2	91.7%
合計	414	498	+ 84	120.3%

※調整額：セグメント間取引消去および各セグメントに配分していない当社本社部門の損益

※当第1四半期より、「デジタル&インダストリー」に区分していた国内のエンジニアリング事業および海外・エンジニアリング（インド産業ガス等）事業を「その他の事業」に、「エネルギーソリューション」に区分していた炭酸ガス・水素事業を「デジタル&インダストリー」に移しました。それに伴い、前年同期の数値も、変更後のセグメント区分に組み替えて表示しています。



(単位：億円)	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	2,464	2,516	+ 52	102.1%
営業利益	188	227	+ 39	120.6%
営業利益率	7.6%	9.0%	+ 1.4pt	—

主な増減要因

売上収益 + 52億円

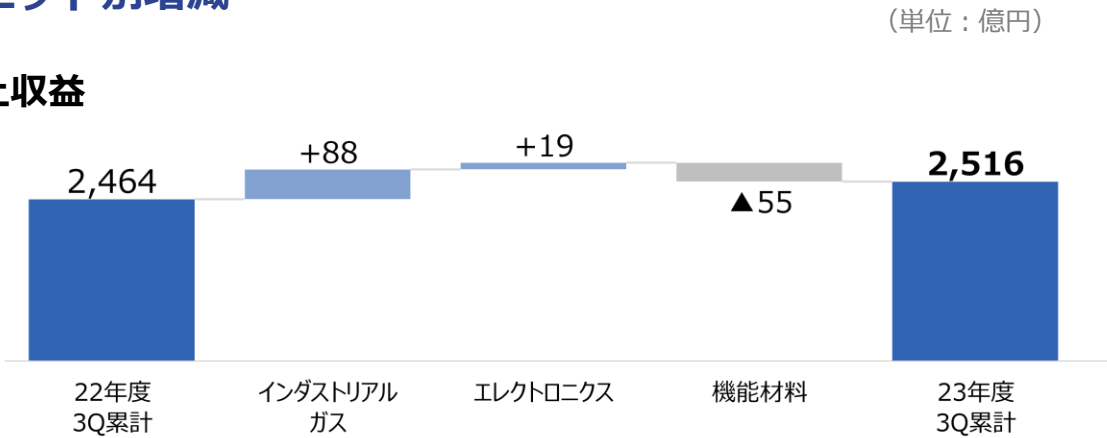
- 【+】
- 産業ガスの価格改定
 - 炭酸ガスの販売増
- 【-】
- 半導体製造装置向けシール材の販売減

営業利益 + 39億円

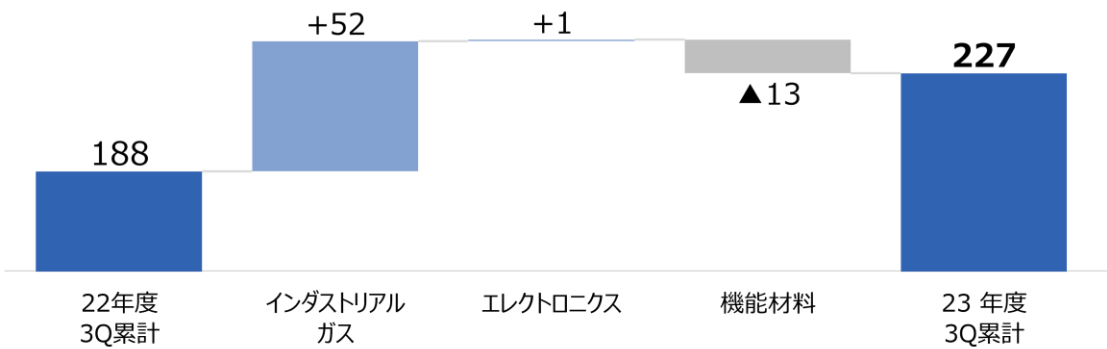
- 【+】
- 産業ガスの価格改定
 - 炭酸ガスの販売増
- 【-】
- 農薬向けナフトキノンをはじめとしたキノン系製品、半導体装置向けシール材の販売減
 - 半導体関連機器・半導体製造装置向け熱制御機器の販売減

ユニット別増減

売上収益



営業利益



(単位：億円)	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	453	429	▲24	94.7%
営業利益	21	16	▲6	73.9%
営業利益率	4.7%	3.7%	▲1.0pt	—

主な増減要因

売上収益 ▲24億円

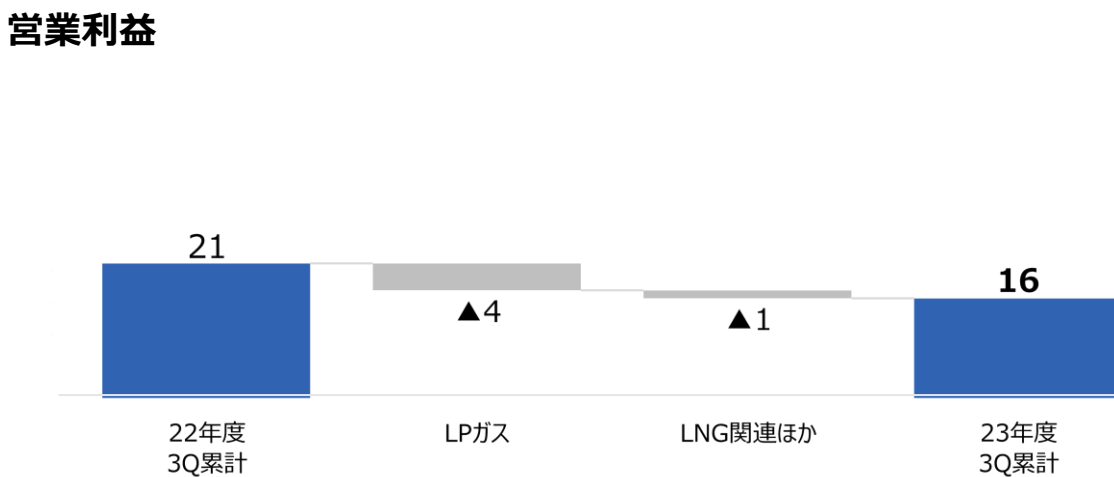
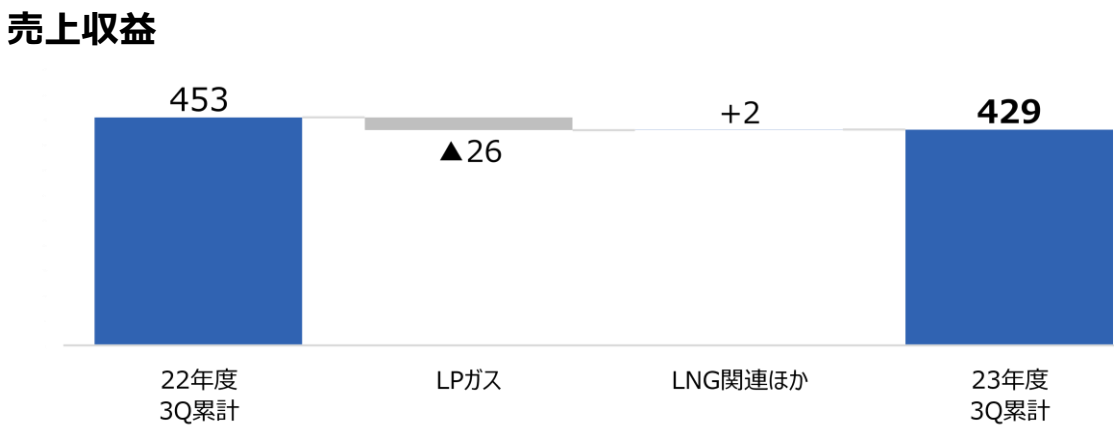
- 【－】
- 市況連動によるLPガスの販売価格下落
- 【＋】
- 工業用LPガスの数量増

営業利益 ▲6億円

- 【－】
- 市況変動に伴うLPガスの在庫評価影響

ユニット別増減

(単位：億円)

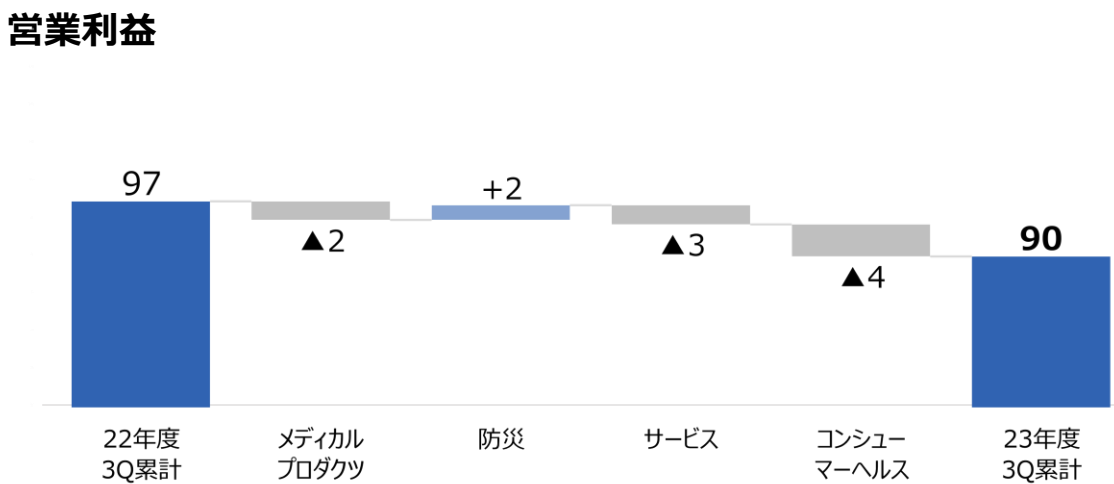
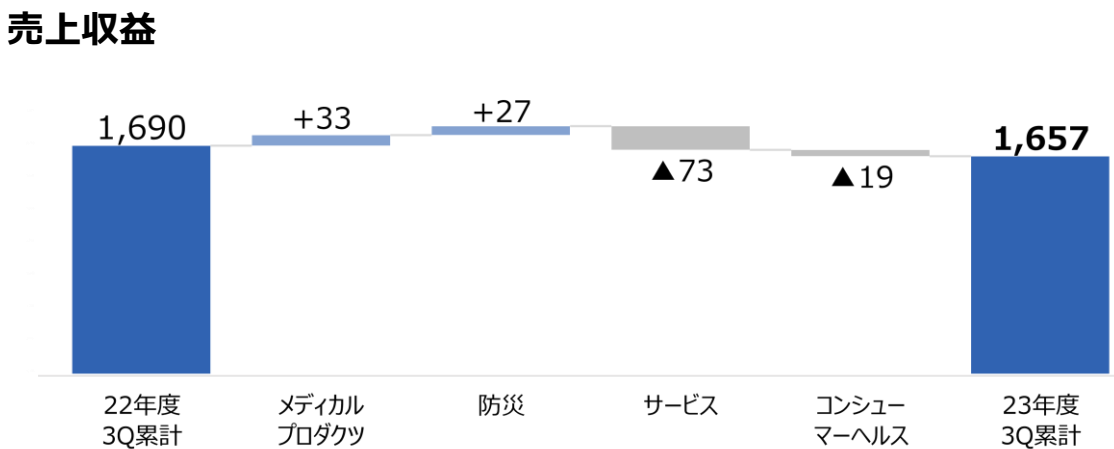


(単位：億円)	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	1,690	1,657	▲32	98.1%
営業利益	97	90	▲7	92.4%
営業利益率	5.7%	5.4%	▲0.3pt	—

主な増減要因	
売上収益 ▲32億円	
【－】	・ 新型コロナ関連需要（在宅酸素濃縮装置・衛生材料等の感染管理製品）の減少 ・ 医療サービス（SPD）の受託減
【＋】	・ データセンター向け防災工事増
営業利益 ▲7億円	
【－】	・ 新型コロナ関連需要（在宅酸素濃縮装置・衛生材料等の感染管理製品）の減少 ・ 医療サービス（SPD）の受託減
【＋】	・ 化粧品（液体充填品）の受託増

ユニット別増減

(単位：億円)



(単位：億円)	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	1,160	1,250	+90	107.7%
営業利益	52	67	+15	128.1%
営業利益率	4.5%	5.3%	+0.8pt	—

売上収益

+90億円

【+】

・ ミネラルウォーター・果実系飲料等の受託増

・ 産直事業における農産物の販売増

・ ハム・ソーセージの価格改定

・ 丸進青果㈱の新規連結効果

営業利益

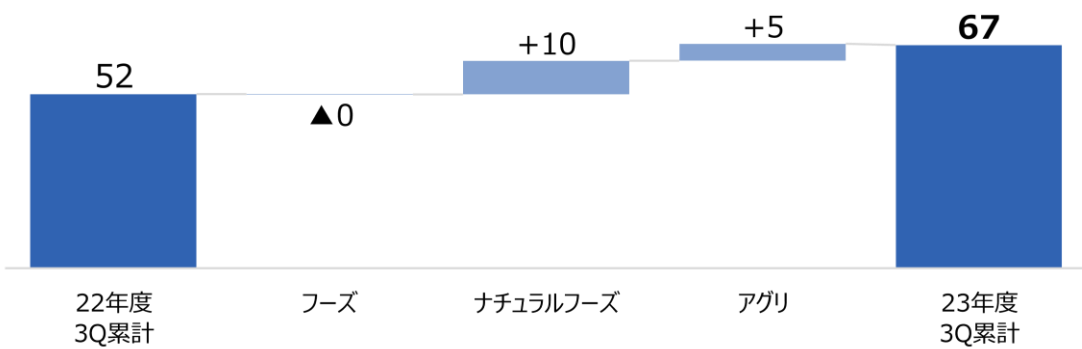
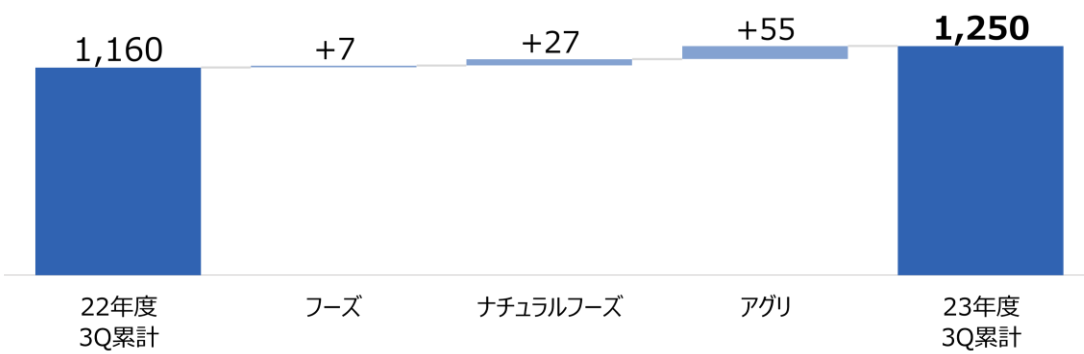
+15億円

【+】

・ ミネラルウォーター・果実系飲料等の受託増

・ 産直事業における農産物の販売増

・ 丸進青果㈱の新規連結効果



その他 売上収益・営業利益



(単位：億円)	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	前年同期比
売上収益	1,481	1,595	+114	107.7%
営業利益	36	81	+45	223.4%
営業利益率	2.5%	5.1%	+2.6pt	—

主な増減要因

売上収益 +114億円

- 【+】
- 北米・高出力UPS分野の業績が順調に推移
 - 北米分野におけるPhoenix社の新規連結効果
 - 業務用塩の価格改定
- 【-】
- 防府発電所運営子会社の連結除外による業績剥落

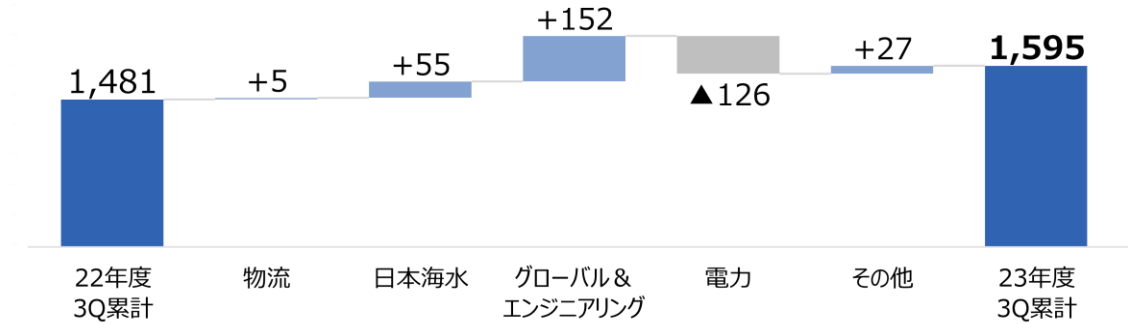
営業利益 +45億円

- 【+】
- 北米・高出力UPS分野の業績が順調に推移
 - 北米分野におけるPhoenix社の新規連結効果
 - 電力事業におけるコスト影響からの回復
 - 業務用塩の価格是正

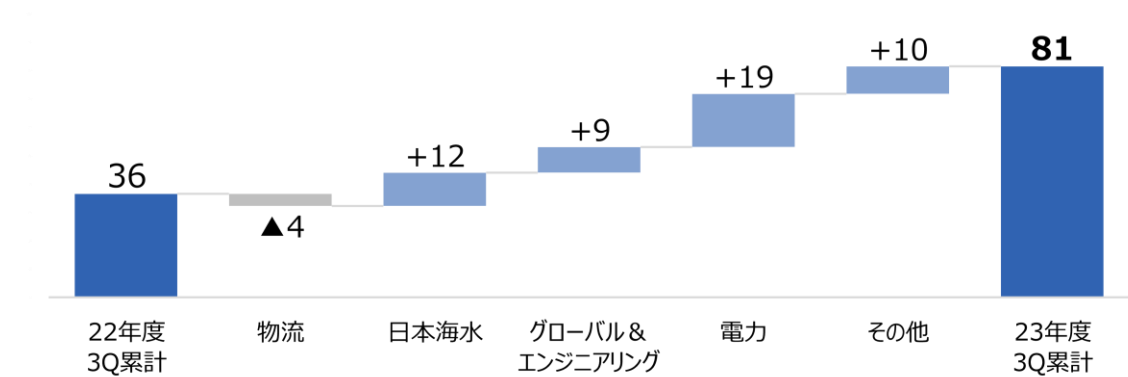
ユニット別増減

(単位：億円)

売上収益



営業利益



(単位：億円)		23年3月末	23年12月末	増減	
				金額	率
	流動資産	4,311	4,444	+133	103.1%
	非流動資産	6,605	7,481	+876	113.3%
	資産合計	10,916	11,925	+1,009	109.2%
	流動負債	2,997	3,017	+20	100.7%
	非流動負債	3,455	4,118	+664	119.2%
	負債合計	6,452	7,135	+684	110.6%
	資本合計	4,465	4,790	+325	107.3%
	負債・資本合計	10,916	11,925	+1,009	109.2%
親会社の所有者に帰属する持分		4,302	4,602		
有利子負債		3,902	4,528		
親会社所有者帰属持分比率		39.4%	38.6%		
ネットD/Eレシオ ※		0.75	0.85		

※「ネット有利子負債」 ÷ 「親会社の所有者に帰属する持分」

キャッシュ・フローの状況



	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減
(単位：億円)			
営業キャッシュ・フロー (①)	360	494	+134
投資キャッシュ・フロー (②)	▲546	▲822	▲276
財務キャッシュ・フロー (③)	252	283	+31
キャッシュ・フロー合計 (①+②+③)	66	▲45	▲111
現金及び現金同等物の四半期末残高	672	629	▲43
フリーキャッシュ・フロー (①+②)	▲186	▲328	▲142

2023年度 通期業績予想

2023年度 通期業績予想



※2023年5月10日に公表した業績予想から変更はありません。

(単位：億円)	2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	増減	
			金額	率
売上収益	10,049	10,800	+751	107.5%
営業利益	622	720	+98	115.8%
税引前利益	610	700	+90	114.8%
親会社の所有者に帰属する当期利益	401	440	+39	109.6%
有利子負債	3,902	4,428	+526	113.5%
親会社の所有者に帰属する持分	4,302	4,780	+477	111.1%
資産合計	10,916	12,299	+1,383	112.7%
営業利益率	6.2%	6.7%		
ROE ※1	9.7%	9.7%		
基本的 1 株当たり当期利益	176.84円	193.12円		
親会社所有者帰属持分比率	39.4%	38.9%		
ネットD/Eレシオ※2	0.75	0.80		

※1 「親会社の所有者に帰属する当期利益」 ÷ 「親会社の所有者に帰属する持分（期首・期末の平均）」

※2 「ネット有利子負債」 ÷ 「親会社の所有者に帰属する持分」

セグメント別 通期業績予想



※当第1四半期にセグメント区分の変更を行ったため、前年度実績の数値も変更しています。

		2022年度 (実績)	2023年度 (予想)	増減	
(単位：億円)				金額	率
 デジタル&インダストリー	売上収益	3,380	3,630	+250	107.4%
	営業利益	261	332	+71	127.1%
 エネルギーソリューション	売上収益	692	700	+8	101.1%
	営業利益	43	46	+3	108.0%
 ヘルス&セーフティー	売上収益	2,360	2,450	+90	103.8%
	営業利益	155	170	+15	109.8%
 アグリ&フーズ	売上収益	1,528	1,730	+202	113.2%
	営業利益	55	72	+17	130.5%
 その他 (物流・日本海水・グローバル&エンジニアリン グ・電力・その他)	売上収益	2,089	2,290	+201	109.6%
	営業利益	51	114	+62	221.0%
(調整額)		営業利益	57	▲70	—
合 計	売上収益	10,049	10,800	+ 751	107.5%
	営業利益	622	720	+ 98	115.8%

補 足 資 料

セグメント区分一覧

グループ	ユニット	主な事業内容
 デジタル&インダストリー	インダストリアルガス	産業ガス（酸素・窒素・アルゴン・炭酸ガス※・水素※・ヘリウム等）、産業ガス関連機器
	エレクトロニクス	半導体メーカー向けガス供給、特殊ガス・ケミカル、ガス精製装置、半導体製造装置向け機器、化成品
	機能材料	電子材料、回路製品、精密研磨パッド、Oリング、基礎化学品、食品向け化学品、マグネシア
 エネルギーソリューション	エネルギー	L P ガス・灯油、L P ガス関連機器、L N G 関連機器、低炭素・脱炭素関連の事業開発（C O ₂ 回収・水素エネルギー・バイオメタン・L N G等）
 ヘルス&セーフティー	メディカルプロダクツ	医療用ガス、医療機器、在宅医療、歯科材料
	防災	病院設備工事、ガス系消火設備、呼吸器
	サービス	S P D（病院内の医療材料・医薬品の調達・運用の一元管理）、滅菌
	コンシューマーヘルス	衛生材料、エアゾール、注射針、化粧品

※当第1四半期より「エネルギーソリューション」から移管

セグメント区分一覧



グループ	ユニット	主な事業内容
 アグリ&フーズ	フーズ	ハム・デリカ、冷凍食品、スイーツ
	ナチュラルフーズ	飲料のO E M受託、自社飲料の製造・販売
	アグリ	野菜加工、青果卸・小売・産直市場、農業機械
 その他	物流	運送、食品物流、医療・環境物流、車体架装
	日本海水(株)	塩、環境、木質バイオマス発電（兵庫県赤穂市、福岡県苅田町）
	グローバル&エンジニアリング	産業ガス※（インド・ベトナム）、産業ガス関連機器（北米）、プラントエンジニアリング※、高出力U P S（無停電電源装置）
	電力	木質バイオマス発電（福島県いわき市）
	その他	建設工事、エコロッカ（人工再生木材）

※当第1四半期より「デジタル&インダストリー」から移管

連結対象会社数



	23年3月末	23年12月末	増減
連結子会社※	142	137	8社増加、13社減少
持分法適用会社	12	12	1社増加、1社減少
合 計	154	149	9社増加、14社減少

※連結子会社の数には、当社が直接連結経理処理を実施している会社のみを含めており、連結子会社が連結経理処理を実施している関係会社はその数から除外しています。なお、上記連結子会社には、ジョイント・オペレーション（共同支配事業）を含んでいます。

2023年度 主な新規連結会社

会社名	セグメント	適用開始時期
(株)日本海水TTS荻田パワー	その他	2023年度2Q
丸進青果(株)	アグリ&フーズ	2023年度3Q
Phoenix Welding Supply LLC.	その他	2023年度3Q

(参考) 2022年度 主な新規連結／連結除外会社

新規連結／連結除外	会社名	セグメント	時期
新規連結	Dohmeyer Holding BVBA	その他	2022年度4Q
連結除外	エア・ウォーター&エネルギー・パワー山口(株)	その他	2022年度4Q

ユニット別 売上収益



(単位：億円)

グループ	ユニット	22年度3Q累計	23年度3Q累計	増減	前年同期比
 デジタル&インダストリー	インダストリアルガス	1,223	1,311	+88	107.2%
	エレクトロニクス	695	714	+19	102.8%
	機能材料	546	491	▲55	89.9%
	グループ計	2,464	2,516	+52	102.1%
 エネルギーソリューション	L P ガス	430	405	▲26	94.1%
	L N G 関連他	22	24	+2	106.7%
	グループ計	453	429	▲24	94.7%
 ヘルス&セーフティー	メディカルプロダクツ	531	564	+33	106.1%
	防災	218	245	+27	112.5%
	サービス	506	433	▲73	85.6%
	コンシューマーヘルス	434	415	▲19	95.6%
	グループ計	1,690	1,657	▲32	98.1%
 アグリ&フーズ	フーズ	395	402	+7	101.8%
	ナチュラルフーズ	401	428	+27	106.8%
	アグリ	364	420	+55	115.2%
	グループ計	1,160	1,250	+90	107.7%
 その他	物流	460	465	+5	101.1%
	日本海水	308	364	+55	118.0%
	グローバル&エンジニアリング	402	554	+152	137.9%
	電力	225	99	▲126	43.8%
	その他	86	113	+27	131.8%
	グループ計	1,481	1,595	+114	107.7%

国内ガス種別 売上収益

(単位：億円)

グループ	ガス種	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	
		金額	金額	金額	率
 デジタル&インダストリー	酸素	288	300	+ 11	104.0%
	窒素	251	286	+ 35	114.0%
	アルゴン	99	102	+ 3	103.0%
	炭酸ガス	169	182	+ 13	107.9%
	水素	44	43	▲ 1	97.8%
	ヘリウム	26	31	+ 4	116.0%
	その他ガス	176	173	▲ 2	98.6%
 エネルギーソリューション	L P ガス	246	223	▲ 23	90.6%
	灯油	68	64	▲ 4	94.1%

※ 海外における産業ガスおよび L P ガス、灯油の売上収益は含めていません

※1
セグメント別 事業利益

(単位：億円)

グループ	22年度3Q累計	23年度3Q累計	増減	
			金額	率
 デジタル&インダストリー	176	212	+ 36	120.5%
 エネルギーソリューション	※2 4	12	+ 8	324.6%
 ヘルス&セーフティー	86	81	▲ 4	95.0%
 アグリ&フーズ	42	62	+ 20	147.5%
 その他	26	69	+ 43	266.9%
(調整額)	59	38	▲ 21	64.3%
合計	392	475	+ 82	120.9%

※1 事業利益：営業利益からその他収益・費用を控除した利益
※2 子会社間の業務委託料の計上に伴う影響額（▲15億円）が含まれております。

(単位：億円)

会社名	22年度3Q累計	23年度3Q累計	増減	
			金額	率
エア・ウォーター北海道(株)	740	729	▲11	98.5%
エア・ウォーター東日本(株)	649	719	+70	110.8%
エア・ウォーター西日本(株)	581	628	+47	108.1%
3 社合計	1,969	2,075	+106	105.4%

※ 上記は各地域事業会社の連結業績数値

主要グループ会社／グローバル&エンジニアリング 分野別 売上収益

地球の恵みを、社会の望みに。



(単位：億円)

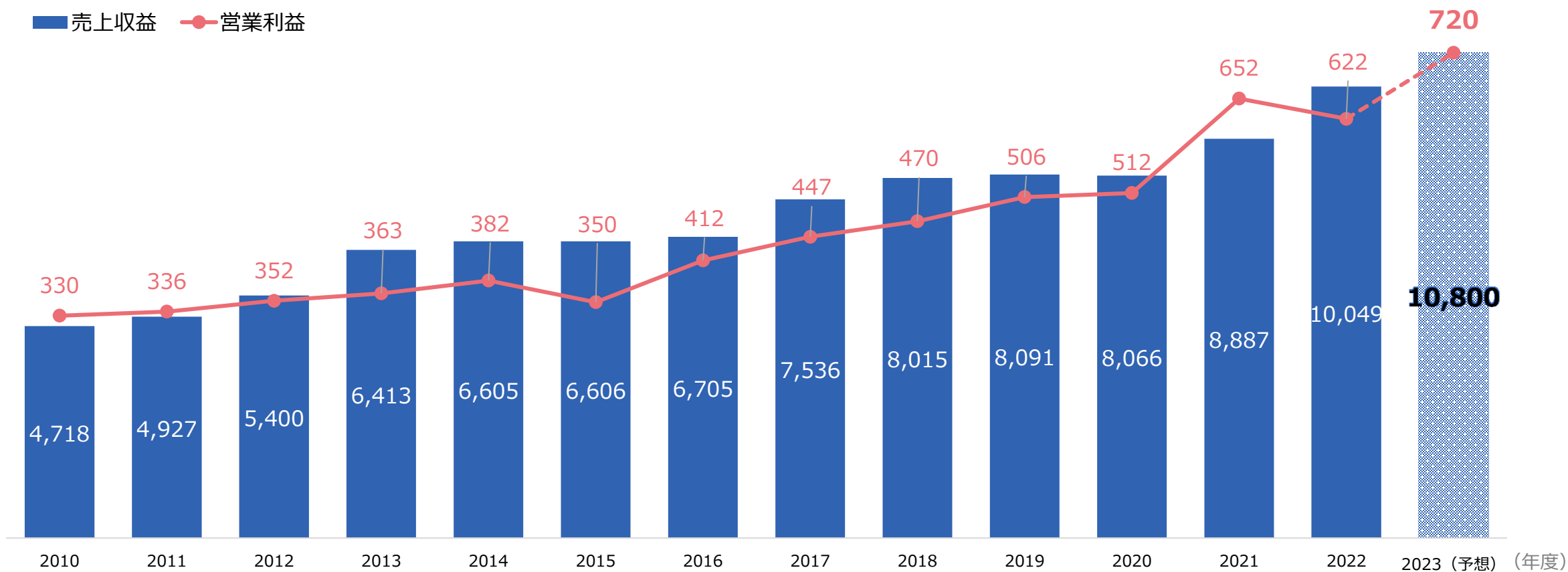
会社名／事業名	セグメント	22年度 3Q累計	23年度 3Q累計	増減	
				金額	率
エア・ウォーター・マテリアル(株)	デジタル&インダストリー (エレクトロニクス)	360	372	+11	103.1%
エア・ウォーター・パフォーマンスケミカル(株)	デジタル&インダストリー (機能材料)	249	241	▲8	96.9%
タテホ化学工業(株)	デジタル&インダストリー (機能材料)	70	67	▲3	96.0%
川本産業(株)	ヘルス&セーフティー (コンシューマーヘルス)	231	223	▲8	96.5%
エア・ウォーター・リアライズ(株)※1	ヘルス&セーフティー (コンシューマーヘルス)	171	179	+8	104.9%
ゴールドパック(株)	アグリ&フーズ (ナチュラルフーズ)	386	416	+30	107.7%
エア・ウォーター小名浜バイオマス電力(株)	その他の事業 (電力)	96	99	+2	102.3%
インド産業ガス分野※2	その他の事業 (グローバル&エンジニアリング)	138	150	+12	108.5%
北米産業ガス分野※2	その他の事業 (グローバル&エンジニアリング)	119	205	+87	172.8%
高出力UPS分野※2	その他の事業 (グローバル&エンジニアリング)	122	199	+77	163.5%

※1 2023年4月1日付で会社名を「エア・ウォーターゾル(株)」から「エア・ウォーター・リアライズ(株)」に変更
2023年10月1日付で「旧ミサワ医科工業(株)」と統合したため、23年度3Q累計の数値は同社業績(10-12月)を含む
※2 各グループ会社の単純合算

売上収益・営業利益の推移

(単位：億円)

■ 売上収益 ● 営業利益

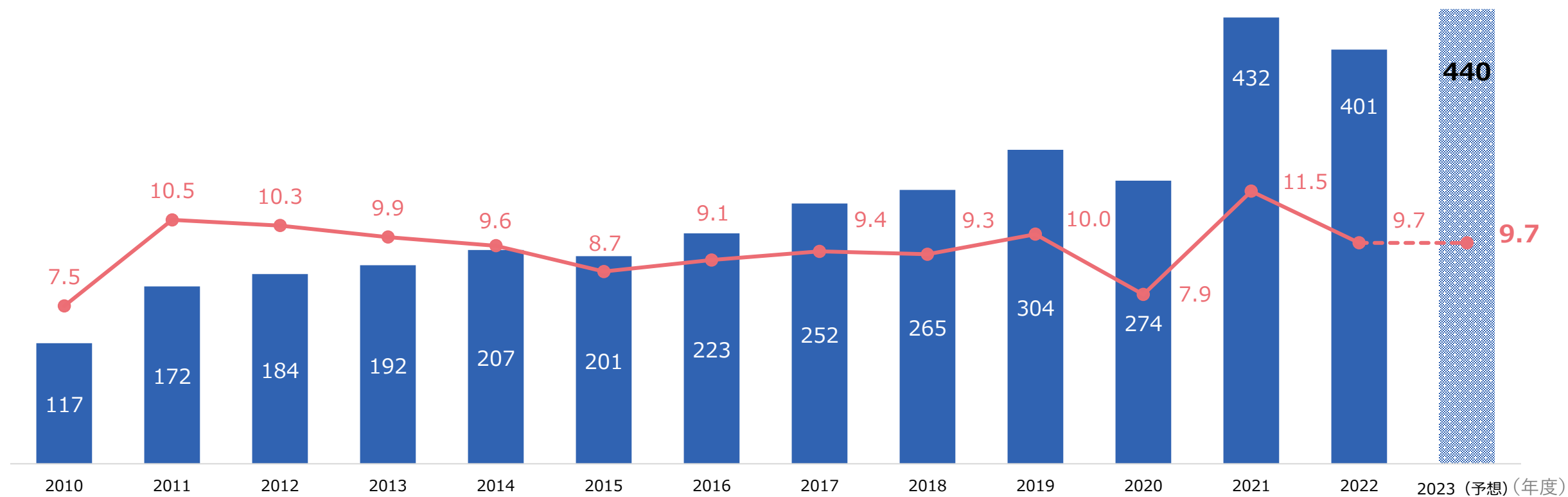


※利益は2018年度までは日本基準における「経常利益」、2019年度以降はIFRS基準における「営業利益」を表示

ROE・当期利益の推移

(単位：億円／%)

■ 当期利益 ● ROE

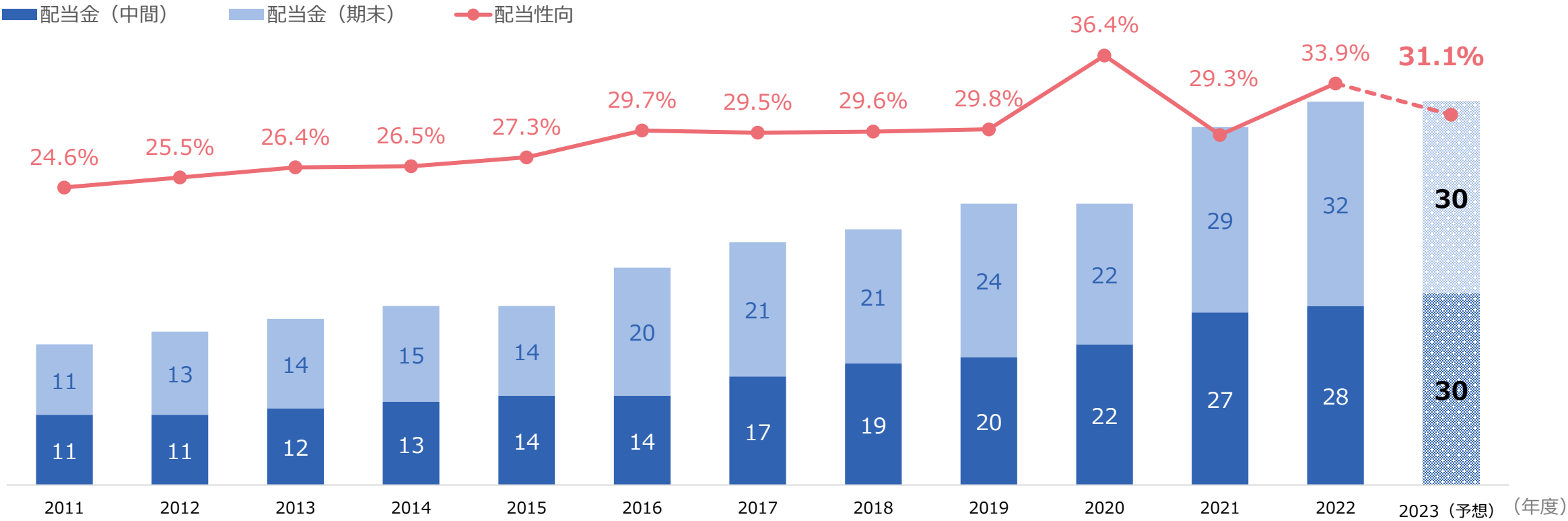


※ 2018年度までは日本基準、2019年度以降はIFRS基準の数値を記載

配当に関する基本方針

配当性向30%を基準とし、将来にわたって業績に見合った安定的な配当を行う

(単位：円)



※ 2018年度までは日本基準、2019年度以降はIFRS基準の数値を記載

直近の主なニュースリリース一覧

※対象期間：2023年11月10日～2024年2月9日



リリース日	トピック
2023年11月10日	■ <u>インドにおけるバイオエネルギーサプライチェーン構築に向けた調査事業がNEDO事業に採択</u>
11月16日	■ <u>(株)ベジテック、デリカフーズ(株)と青果物流通におけるDX導入を推進</u>
11月27日	■ <u>そば殻を原料にした低コストバイオコークス製造技術の実証事業を開始</u>
11月30日	■ <u>工業炉における燃料アンモニアの利用技術開発を行う「脱炭素産業熱システム技術研究組合」に加入しました</u>
12月6日	■ <u>半導体材料としてのヘリウムの供給確保計画の認定に関するお知らせ</u>
12月19日	■ <u>バイオマス由来のCO₂からギ酸を製造する取り組みを日東電工(株)と開始</u>
2024年1月30日	■ <u>北海道の自治体向け寄付支援制度「ふるさと応援H（英知）プログラム」2023年度分の寄付先決定のお知らせ</u>
1月31日	■ <u>エア・ウォーターがRapidusの材料輸送に関する取りまとめ業社に指定</u>
2月8日	■ <u>産業・医療ガスの価格改定について</u>

■ デジタル&インダストリー ■ エネルギーソリューション ■ ヘルス&セーフティ ■ アグリ&フーズ ■ その他

■被害状況について

当社グループにおける人的被害はありません。
サプライチェーンにおいても、調達や生産スケジュールに重大な影響を与える事象は発生しておりません。

物的被害については、孫会社であるクロス工業(株)※の能登工場（石川県珠洲市）で、建物や設備の一部に被害が発生し操業を停止していましたが、1月29日より、一部生産を再開しました。

当期の業績に及ぼす影響は順次精査中ですが、現時点では、復旧にかかる費用や使用できない原料・資材の評価減など合計で約50百万円の特別損失が発生する見込みです。

※連結子会社である川本産業(株)の子会社で、包帯などを製造

■支援について

- 日本赤十字社を通じて1,000万円を寄付
- カセットコンロ用ボンベ2,000本を無償提供
- グループ会社 エア・ウォーター防災(株)が設計・製造した「医療コンテナ」を設置
- グループ会社 ゴールドパック(株)より、ミネラルウォーターなどの飲料約1,000本を無償提供
- グループ会社 (株)歯愛メディカルより、歯ブラシ、除菌ウェットティッシュ、洗口液などの物資を無償提供

引き続き、当社グループ全体で被災地を支援してまいります。



被災地に設置された医療コンテナ

TOPICS 半導体向け稀少ガス（ヘリウム・アルゴン）の安定供給に向けて

ヘリウム・アルゴン
需給ひっ迫の背景

- 国内で進行する大手半導体メーカー各社の生産増強
- 世界的なヘリウム需要の拡大と供給側の不確定要素
- 高炉再編によるアルゴンソースの減少

ヘリウム

主要用途：半導体製造の冷却用ガスやリークチェック

■ 供給能力拡大に向けた設備投資を計画

経済安全保障促進法に基づく「供給確保計画」に認定。
半導体向けヘリウムの安定供給にかかる投資計画に対して、
経済産業省が助成金を交付（投資額の1/3が上限）

ご参考：[ニュースリリース](#)（2023年12月6日）

上記の設備投資に加え、海外の関連
会社との連携によって、グローバル
でのヘリウム事業拡大に取り組む。



日本ヘリウム(株)センター工場

アルゴン

主要用途：シリコンウエハの製造工程における雰囲気ガス

■ 地域的に偏在するソースを有効活用し、需要構造の変化に合わせた全体最適化を推進

- ① 半導体工場向け大型ASUでアルゴンを製造
今後新增設するASUで国内3カ所を想定
- ② 既存生産設備（室蘭）の増強と東北地区における中継基地の新設

※室蘭における生産能力を1.4倍に



アルゴン貯槽タンク



建設中の北上ガスセンター

地球の恵みを、社会の望みに。

